

編集後記

今、私は『前売券シネマグラフィティ』（ワイズ出版）という本を手にかけています。それはこの中の「前売り券製作にたずさわって」という岸上彰男氏の文章に出会ったことがきっかけでした。今では当たり前前の「前売り券」の誕生の前後を語っているこの文章に魅かれたのです。

岸上氏は、戦後の東和映画が自主配給を始めた一九五二年に入社し、在社二十八年間に封切られた六六七本のうちの五六〇本を直接手掛けた宣伝交渉プロデューサーです。

氏の入社当時は「官給票券」と呼ばれた味もそつ気もない団体割引券でしたが、氏らの宣伝の努力が実っ

て年間の上演本数が増え、「私製票券」が認められ、一見して内容のわかるカラフルな「特別鑑賞券」が誕生したのです。

一九五七年から約三十年間のそれらを年代順に並べたのがこの本なのです。当時の私にとって映画は高価なもので、実際には数えるほどしか見ていないはずなのに、これらの券を見ていると当時の生活のあれこれが連想され不思議に思います。

岸上氏は「手にした時から期待は高まり、恐らく人にも見せては、その楽しみを語ったであろう」と、一枚の券がもつ限りない広がりについて語っています。前売り券の誕生で、映画は、見た人だけのものではなく、見なかった人までもその想像力で取り込んでいった、そんな時代の中に私もいたのです。(A)

幼児の教育

第一〇〇巻 第八号

(二〇〇一年八月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十三年八月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8620 東京都文京区大塚二二一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五二二一

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一一四一九

☎〇三―五三九五―六六一三(営業)

☎〇三―五三九五―六六〇四(編集)

振替 〇〇―一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所「フレーベル館」にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。